

オレゴン州：小麦作柄と気象状況

2002年5月28日

全州に亘り気温は平年を下回り、州東部では最高気温は61度F程度であった。平年ではこの時期には80度Fを記録するペンデルトン市にては79度Fであった。北中央地区を含め各地に降水を見た。ウィラメット盆地では計1インチ以上を記録した観測地もある。シャーマン郡においても0.33~0.55インチを記録した。この降水も小麦の状況を改善するには至っていない。農作業可能日は平均6.1日であった。

コロンビア・ベイスンの小麦の一部、特に冬小麦では枯死状態の圃場もある。春小麦は今後の雨で多少回復すると思われる。シャーマン郡の冬小麦は出穂を始めており、春小麦の一部も出穂を始めた。殆どの冬小麦が穂孕み期に突入した。単位収量の減収が既に予測されている。

2002年5月26日現在:

土壌水分状況:

Topsoil (%)	23	33	43	1
Subsoil (%)	25	28	46	1

小麦作柄:

	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Winter wheat (%)	21	26	34	17	2
Spring wheat (%)	na	na	na	na	na

作物進捗状況:

	This week	Last week	Last year	5 -yr Ave.
Spring wheat Emerged (%)	100	99	100	na
Winter wheat Headed (%)	33	28	25	29

Source: Oregon Agricultural Statistics Services